



令和8年度
Bチャレ
提案公募型協働事業
応募ガイド



＼ Bチャレとは ／

ボランティア・NPO・企業・行政・学生(学校)・ソーシャルビジネス等による地域課題解決や地域活性化を目指した事業を、協働で実施するためのチャレンジに助成する事業です。

※事業愛称として、文京（Bunkyo）の「B」、チャレンジの「チャレ」から「Bチャレ」としました。

新たなつながり部門

年度ごとに区と社会福祉協議会が設定した地域課題に対して、その解決に向けた礎を築くために課題についての周知や協働相手や理解者を増やすことを目指し、団体と区が連携し、協働する事業への助成です。

チャレンジ部門

地域課題の解決や地域活性化のために活動する団体のイベントやキャンペーン事業を通して文京区での実績や関係づくり、課題の検証を応援するための助成です。



協働とは

協働は、共通の目的・目標を設定するところから始まり、対等な立場で役割分担・協力しながら事業を進めていきます。そのため協働には対話が不可欠です。

フミコム 市民活動担当は、事業について相談に乗ったり広報活動のサポートはもちろん、団体と区担当課との間に入り、円滑な事業進行のための調整等のサポートを行なっています。

新たなつながり部門

\\ 文京区が考える \\

地域と協働で

解決したい課題

「新たなつながり部門」は、課題解決のための事業を通して地域課題を周知し理解者を増やすことを目的としています。令和8年度、区と社会福祉協議会が連携し「文京区が考える地域と協働で解決したいこと」として右記6つの課題があがりました。

助成金額

1団体最大 **100万円**

● 令和8年度版 文京区地域課題

- 【1】 町会・自治会の活動についての周知や加入促進についての継続的な発信をSNS等で行うためのサポートをする活動
- 【2】 町会・自治会等が行う地域コミュニティ活動の新たな担い手を創出するために区内で新しいつながりづくりに取り組む活動
- 【3】 区民と外国籍住民がやさしい日本語で交流し、国際理解の促進を図る場をつくる取り組み
- 【4】 多職種の専門職が住民とつながるための仕組みづくりを推進するとともに、在宅医療・介護連携を推進するために地域の課題を収集する取り組み
- 【5】 家庭のCO₂排出量削減を促進するための、区民の意識啓発及び身近で具体的な取り組みの周知活動
- 【6】 その他、団体の専門性を活かしたテーマで提案された取り組み

チャレンジ部門

地域の団体等が、文京区地域課題だと考えるテーマの検証を目指して行うイベント、あるいはキャンペーン事業への助成です。

助成金額

1団体最大 **20万円**



【隣人の日・共創ワークショップ】 (2023年度の事例)
隣人の日・共創ワークショップ



◀ 募集要項の詳細

令和8年度(2026年度)Bチャレにおける助成要件、応募方法、審査基準等の詳細



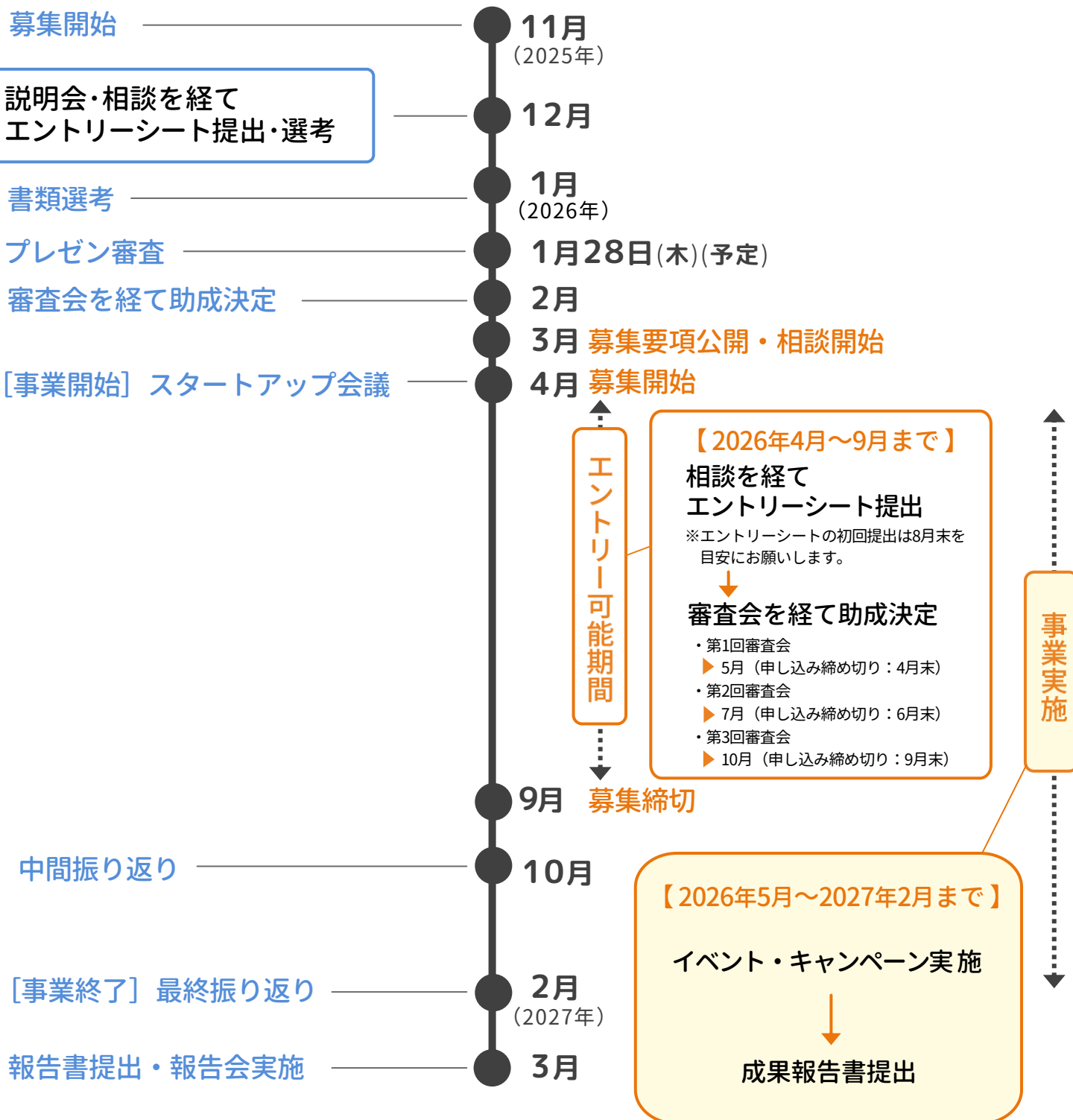
◀ 過去の助成団体一覧

平成30年度(2018年度)から令和6年(2024年度)に実施された事業の助成団体や報告書等

フミコム市民活動担当はエントリー前の事業相談からサポートを行います。その他にも専門相談や講座等の活用をご提案したり、他の団体等との連携についてもご相談いただけます。

新たなつながり部門

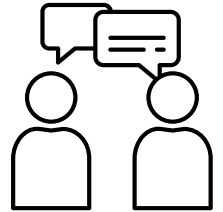
チャレンジ部門



2 部門共通

① 相談 ↓ 提出

まずは内容がまとまっていなくても大丈夫ですので、フミコム 市民活動担当までご相談下さい。どのようなチャレンジをしたいのか、フミコムの相談を経てエントリーシートをご提出いただきます。（エントリーシートは公開しておりません）



② 審査

エントリー期間内にご提出された書類に基づき、事務局で関係する担当課へのヒアリング等、事業に関する情報収集を行います。その後、文京区（新たなつながり部門は外部審査員を含む）と社会福祉協議会で審査会を行います。



③ 実施

事業実施前にスタートアップ会議を開催し、審査会からのフィードバックを含めて共有し、改めて成果指標を確認します。協働事業を通じて課題を深掘りし、団体間の連携を進めていくため、地域の情報やマッチングの機会等を提供します。



④ 報告書 提出

定期的な経過報告をいただき、事業実施をしていただきます。関係課をはじめ、協働事業を通じて関わった関係者からのコメントやアドバイスをお伝えし活動の継続に向けた伴走支援を行います。



新たなつながり部門 令和7年度の採択事業一覧

継続2年目

“専門職と地域住民をつなぐ”架け橋事業

実施団体：NPO法人 地域ネットワーク とらいあんぐる
助成額：776,000円

生活に近い地域の居場所で、住民と専門職と既に継続的な関係性を有する「架け橋（つなぎ役）」が両者をつなぐことで、多様な課題の早期対応を目指します。居場所運営者や専門職等と協働し、つながる機会を提供していきます。



継続2年目

多文化コミュニティプロジェクト「にほんご交流 in ぶんきょう」

実施団体：ぶんきょう多文化ねっと
助成額：922,000円

多文化多国籍化の文京区で、①多様なリソースを繋ぎ、日本語交流・地域相互理解の機会を作ります。②持続的な日本語支援活動のためのリソース発掘・育成の2つを柱に日本語・外国人双方が暮らしやすい地域づくりを目指していきます。



継続2年目

地域防災の向上を高める 防災・バリアフリーマップ作り —いざという時を平時から考える—

実施団体：NPO法人 リーブ・ウィズ・ドリーム
助成額：588,000円

避難所運営協議会エリアで地域を選定し、講習会や防災・バリアフリーまち歩き調査をおこなって地図を作成・配布します。講習会では地域防災やバリアフリーの基礎が学べ、地域を知るきっかけとなります。



チャレンジ部門 令和7年度の採択事業一覧

子ども向けイベント「夏休みの宿題を攻略しよう！」

実施団体：Curina Buddy (キュリナバディ)
助成額：200,000円

だいじな夏休みだからこそ、今しかできない唯一無二の体験で自分の「好き！」を見つけよう。そして自分自身の表現で”感動”を表現しよう。自分の住んでいる地域のすごい人からとっておきの経験を教えてもらおう！



夏の自由研究“お祭りをつくろう”ワークショップ

実施団体：一般社団法人マツリズム
助成額：200,000円

夏休みの自由研究の題材として、根津千駄木エリアの子どもたち向けにお祭りワークショップを企画する。自分たちオリジナルの祭りを地域で企画・実施することを通じて想像力や協調性、地域とのつながりを育てていく。

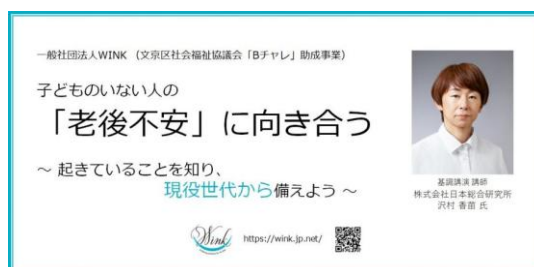


子どものいない人のためのプレ終活

実態把握セミナー&ワークショップ<PAANKラボ (Pre Aging Action for No Kids) >

実施団体：一般社団法人WINK
助成額：85,000円

老後に対する漠然とした不安を払しょくするために、今起きている「身寄りのない高齢者問題」を知り、現役世代のうちから将来に備えることで、今を安心してよりよく生きることに繋げるワークショップ。



人生100年時代の老いじたく

実施団体：NPO法人 後見支援東京
助成額：200,000円

主に高齢者単独世帯の方々が、住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らしていけるよう、元気なうちに何をどの程度準備し、どんな社会資源を活用していけばいいかなど、皆さんと一緒に考える機会を作ります。



みんなで大地震の初動を学ぶごちゃませ防災アクション ～ 未来へつなぐ地域力～

実施団体：ご近所de BOSAI
助成額：200,000円

大地震の初動期(6時間以内)に、多様な背景を持つ地域住民が、被災地の教訓や防災ワークを通して、自分の備え、共助の大切さを理解し、命を守る力を育てる防災協働事業です。





社会福祉法人 文京区社会福祉協議会
地域連携ステーション フミコム

〒113-0033
東京都文京区本郷4-15-14 文京区民センター 地下1階



開館日 月～土曜日 9:00～21:00
※電話・相談対応は平日19:00、土曜17:00まで
日・祝・第4月曜日 9:00～17:00
※開館の最新情報について下記Webより
ご確認下さい。

休館日 年末年始 (12/29～1/3)
施設点検時 (随時)

電話 【市民活動担当】 03-3812-3044

WEB <https://fumicom.tokyo>

SNS @bunkyofumikomu
Facebook/X (旧: Twitter) /Instagram